

指導の手引き 1 食べ物①

<b>rice ball</b>	rice のほうをやや高く、強めに。	おにぎり
英語らしい音を出すコツ	r は、前にwを添えるつもりで口を尖らせて発音。 ball の l は舌先を上歯の裏に押しつけたまま発音。	
文法的な注意事項	複数なら rice balls になる。数えるときや好き嫌いを伝えるときには、I like rice balls. のように複数形を使う。	
文化的な情報、応用表現など	具は何が好き? What do you like in your rice balls?	

<b>bread</b>		パン
英語らしい音を出すコツ	b と r の間に u を入れないように練習するには red, red, red, bread と、リズムカルに続けて言う。red という前に唇を閉じるだけと考えてよい。	
文法的な注意事項	複数あっても bread という。 I like bread. と -s はつけないで使う。	
文化的な情報、応用表現など	写真のパンは rolls という。種類で呼び方を変えるときは、複数にすることが多い。丸いパンを buns (バンズ) と呼ぶこともある。クロワッサン (croissant) も rolls の仲間。	

<b>noodle</b>		めん
英語らしい音を出すコツ	語尾の -le は ball の l と同様、日本語の「る」のように舌を弾かずに、舌の先を上歯の裏に押しつけたまま、暗い「ウ」のような音で終わる。「ヌードウ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	普通は複数形にしない。 I like noodle. でよい。 I like a noodle では「1本だけが好き」になる。	
文化的な情報、応用表現など	うどんは noodle, そばは buckwheat noodle という。ラーメンは最近では ramen のままで英語として使える。	

<b>egg</b>		卵
英語らしい音を出すコツ	e を少し長めに、g は息を破裂させずに止める。語尾の「ぐ」に力を入れない。	
文法的な注意事項	殻のままなら複数形になる。殻を割り料理の材料になったら複数形にはせず a もつけない。	
文化的な情報、応用表現など	生卵 (raw egg) は、嫌がって食べない外国人が多い。	

<b>fish</b>		魚
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯をあてて f を発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞なので 1 匹なら a fish だが、複数でも fish。How many fish do you see? 「魚は何匹いる?」 -s をつけた形を普通は使わない。	
文化的な情報、応用表現など	骨のない切り身は、fillet 「フィレ」。イギリス英語では語尾の t は発音しない。語源は「牛ヒレ」と同じでフランス語。「フィレオフィッシュ」は fillet of fish のこと。of と fish の f がつながって、of の f が fish の f と同化、「オフィッシュ」と聞こえる。	

<b>sausage</b>	語の最初にアクセント。	ソーセージ
英語らしい音を出すコツ	sau のところだけ長く、あとは短めに。「ソーシジ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞なので、1本なら a sausage だが複数には -s をつける。数えるときや好き嫌いを伝えるときには I like sausages. 数えるときには How many sausages do you see in the pan? 「フライパンにソーセージが何本見える?」	
文化的な情報、応用表現など	「ウインナー」では英語として通じない。Vienna sausage という。Vienna (ヴィエナ) はオーストリアの首都。なお、フランクフルトソーセージは Frankfurter (フランクファーター)。	

<b>jam</b>		ジャム
英語らしい音を出すコツ	「ジェラム」のように発音すると英語らしい。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。 I like strawberry jam. と、a や -s をつけないで使う。	
文化的な情報、応用表現など	bread and jam とは、ジャムを塗ったパン。and は軽く bread-n-jam のように言う。	